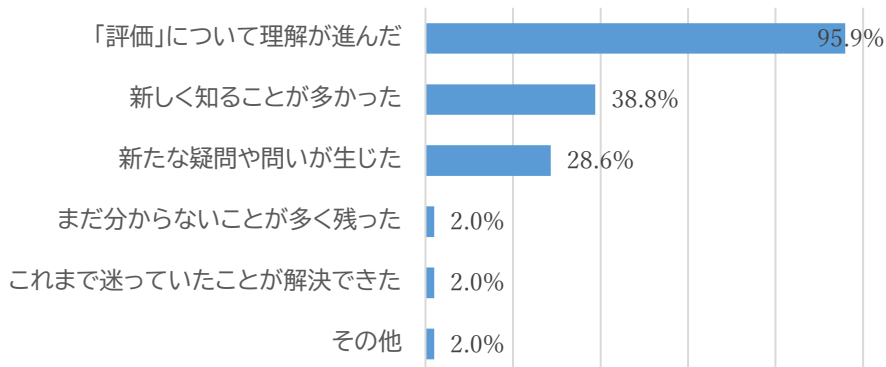
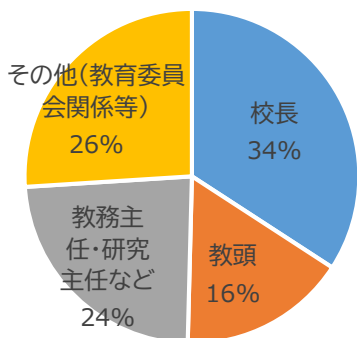




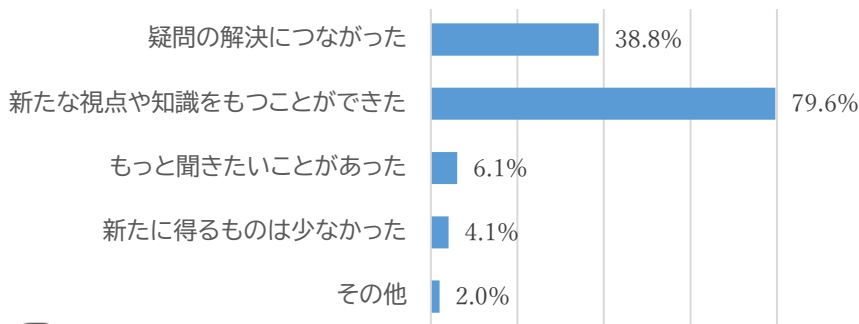
数字で見る「第1回学びの改革ミニフォーラム」(参加者アンケートより)

参加者数 **124名**

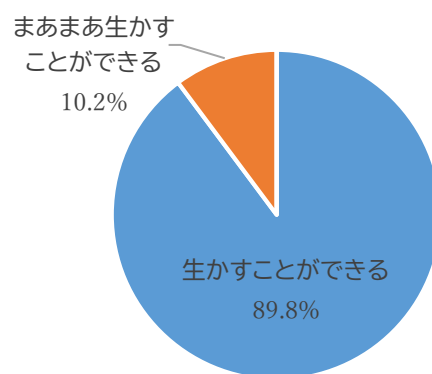
講演「学習評価のあり方」について、お話の内容をどのようにとらえましたか。



「質問タイム」について、参加者からの質問や石井先生のお話から研修内容を深めることはできましたか。



ミニフォーラムは、自校の学びの改革に生かすことのできる研修となりましたか。



参加された方の生の声

今年度、初めて研究主任になり学習評価について学びたいと思い参加しました。私は毎時間の授業から評価しなければならないとの考えから、評価のための授業になりがちでした。ですが、今回のご講演から、評価と評定の違いを明確にすることができました。評価を負担に感じ、毎時間の授業の終末に緊張してしまうこともありましたが、明日からの授業に繋がられるご講演だったと思います。学校内で共有し、今後の研究に生かしていきたいと思っています。

ちょうど、2日前の職員会議で教科運営計画で各教科の評価計画を審議しましたが、昔ながらの計画の様子もあったため結論を出せず継続審議となったところでした。本日のフォーラムで得られたものを校内でどのように還元できるか、考えていきたいと思っています。

石井先生のお話で、新たに認識したこともあり、たいへん勉強になりました。残念なことは、時間が短く、講演内容を最後まで確認できなかったことです。そこが(最後の部分)、お聞きしたかったです。

指導に生かす形成的評価の意義や総括する評価のまとめ方等、発信してまいります。

